天声こども語

様々な荷物を自宅に届けてくれる宅配便は今ではなくてはならないものです。インターネットでの買い物の配送や遠くに住む孫へのプレゼントを送る際にも宅配便は便利です。日本で宅配便が始まったのは1976年1月です▼ヤマト運輸（当時は大和運輸）が「宅急便」という名前で50年前に始めました。それまで個人宅に荷物を運ぶのは郵便や鉄道での配達に限られていました。しかも郵便局や駅の窓口まで荷物を持っていかねばならず、とても不便でした▼そのころの社長だった小倉昌男さんは「1個でも家庭まで集荷に行き、翌日配達すれば、必ず国民の支持はえられる」と考えました。新サービスには役所が反対しましたが、ねばり強くがんばり、実現しました▼初日に運んだ荷物は11個だけでした。今では年間23億個を運んでいます。一つの会社が生み出したイノベーションが、みんなの暮らしを便利にしています。

2026.1.27

今日の筆者　安井孝之　1957年生まれ。経済ニュースなどをニュースサイトや雑誌に書いているフリーライター。元朝日新聞記者。小さいころはかけっこが好きで、今もジョギングが趣味。

◉「天声こども語」にタイトルをつけてみよう。

月　　日　　曜日

◀書き始め